

茨城県河川の魚類目録 - II

十王川および花貫川

位田俊臣・大川雅登・佐藤陽一

本報では、昭和54、55年に十王川と花貫川で採捕ならびに聞取によって調査した両河川の魚類相について、その結果を括めた。また第1報¹⁾に記録した久慈川と大北川のその後の採捕された魚類の追加を行った。

河川概況

十王川：本河川は、茨城県多賀郡十王町高原付近を水源とし、同町を流下し、日立市川尻付近で太平洋に注ぐ。延長約17 km、流域面積約45.6 km²の2級河川である³⁾。同町川上地区には、水力発電所が設けられ、その上流古田までの約2.5 km間は、発電用水として全量取水され、平常時は、河川水がない。

河川内の用水堰は本流で12ヶ所（古田付近まで）あり、これらのうち、溯河性魚類の通過を阻げる堰は、数ヶ所ある。特に溯河性魚類の通過を阻げる初めの堰は、河口から約2 kmの川根橋付近に位置する。このためアユなどは、これから上流への分布が阻止される（用水路を伝わって一部は、上流に溯上する）。

十王川の流域区分は、筆者等の目視観察によると下流域（水流が比較的遅く、潮の干満の影響のある範囲）は、河口から約500 m付近の日立市川尻町十王橋。その上流約2 kmが中流域（砂礫が中心で瀬が多い）、更に、その上流は上流域（岩、巨礫があり流速が早い）。

また本流は、多賀山地を背景に、海岸から山地間は約2 kmで勾配が比較的急な河川である。

本川の漁業は、小河川であるため、みるべきものはないが昭和56年に十王川漁業協同組合が設立され、今後水産面での河川利用が期待される。

花貫川：高萩市大能を水源とする延長19.4 km、流域面積66.9 km²の2級河川である⁴⁾。主な支流に多々良場川、中戸川があり、本川秋山付近に、多目的ダム（花貫ダム）がある。また、本川と中戸川に発電所が設置されており、発電用水取水のため大能下から花貫ダム下までの約4 km間、水量が少ない。

農業用水取水堰は、河口から約5 kmの小屋下地区にあり、また、花貫ダムより上流では、鳥曾根付近に2ヶ所設置がみられ、これらによって河川が寸断されている。河川形態は、十王川と類似し、

*魚種の分別は、中村²⁾によった。

下流域が少なく，勾配も急である。

水質環境の変化：茨城県北部は，明治以降，常磐南部炭田地帯として急速に発達し，多くの炭鉱が開発された。その特徴は，小規模炭鉱が多数出現したことである。石炭生産工程の中で洗炭は不可欠なものであり，これに使用する用水は地下水，河川水を利用し，排水は各河川に排水された。第1表に，茨城県水産試験場⁵⁾が，昭和37年から昭和40年に調査した両河川の水質環境(SS)の

第1表 十王川・花貫川の水質

十 王 川			花 貫 川		
月 日	採 水 場 所	SS mg/l	月 日	採 水 場 所	SS mg/l
S 37. 6. 27	梁 津 橋	211	S 37. 6. 13	花 貫 橋	2,509
"	櫛形(放水口)	6,635		高萩炭鉱(放水口)	8,059
9. 18	梁 津 橋	395	9. 18	花 貫 橋	1,820
11. 13	江 戸 内 橋	9		高萩炭鉱(放水口)	11,084
"	や っ た 橋	416		" パンプ(")	507
"	櫛形鉱(放水口)	7,192	12. 21	花 貫 橋	4,072
12. 14	や な つ 橋	676		稲 村 橋	1,477
	櫛形鉱(放水口)	4,940		高萩炭鉱(放水口)	5,979
S 38. 3. 4	や な つ 橋	995		" パンプ(")	218
	櫛形鉱(放水口)	4,571	S 38. 6. 25	花 貫 橋	2,304
6. 25	江 戸 内 橋	48		高萩炭鉱(放水口)	10,534
	や な つ 橋	1,226		" パンプ(")	652
10. 9	や な つ 橋	335	7. 10	花 貫 橋	1,378
	櫛形鉱(放水口)	1,041		"	2,078
12. 20	や な つ 橋	257	10. 9	"	786
S 39. 6. 30	や な つ 橋	242		高萩炭鉱(放水口)	3,891
"	櫛形鉱(放水口)	3,015		花 貫 橋	2,086
9. 29	や な つ 橋	215		高萩炭鉱(放水口)	14,308
12. 8	櫛形口(放水口)	3,463		" パンプ(")	414
S 40. 2. 17	や な つ 橋	495	S 39. 2. 25	花 貫 橋	1,104
	櫛形鉱(放水口)	2,427		高萩炭鉱(放水口)	11,362
S 55. 4. 24	十 王 橋	1.3	S 55. 4. 24	花 貫 橋	29.1
6. 20	"	15	6. 24	"	34
8. 28	"	13	8. 28	"	21
10. 23	"	8.7	10. 23	"	99

※ 江戸内橋は櫛形炭鉱放水口より上流

一部を示し、現在と対比した。両河川とも炭鉱の活動期には、その洗炭排水によってSSが高濃度になっていたことが解る。また、この調査や聞取りによると当時の水色は黒又は茶褐色を呈していたとされ、水棲生物にとって良環境ではなかったように思われる。県北河川（炭鉱が付近に存在する河川）は、関根川を除いて同様の状態であったと云われる。しかし、経済社会情勢の変化に伴って、常磐南部炭田地帯の出炭は衰退し、昭和50年以降は、消滅した。これによって河川環境は良化した（花貫川は河口付近の工場排水によって、河口付近は水質汚濁がある）。

魚類目録（*・採捕現認，**・聞取り）

I SALMONIDAE

- 1 サケ** *Oncorhynchus keta* (WALBAUM)
十王川では毎年数10尾程度溯上するといわれる。
- 2 サクラマス** *O. masou* (BREVOORT)
十王川で時々採捕される。
- 3 ヤマメ* *O. masou* (B.)
十王川・花貫川とも本川支流に棲息する。毎年放流されている。
- 4 イワメ* *O. iwame* KIMURA et NAKAMURA
花貫川支流多々良場川に棲息する。数はきわめて少ない。位田他⁶⁾はヤマメの突然変異型（斑紋消失型）としている。
- 5 ニジマス** *Salmo gairdneri* RICHARDSON
花貫ダムに棲息している。

II PLECOGLOSSIDAE

- 6 アユ* *Plecoglossus altivelis* TEMMINCKET et SCHLEGEL
十王川・花貫川共に棲息する。
- 7 タモロコ* *Gnathopogon elongatus elongatus* (T. et S.)
十王川・花貫川共棲息普通種。
- 8 モッコゴ* *Pseudorasbora parva* (T. et S.)
十王川・花貫川共棲息。数は少ない。
- 9 ウグイ* *Tribolodon hakonensis* (GUNTHER)
十王川・花貫川共棲息。普通種。
- 10 マルタ* *T. tazanowskii* (STEINDACHNER)
花貫川に棲息。十王川**にも棲息するといわれる。

- 11 アブラハヤ* *Moroco steindechneri* (SAUVAGE)
花貫川・十王川共上流に棲息。
- 12 オイカワ* *Zacco platypus* (T. et S.)
花貫ダムに棲息。大川他⁷⁾に報告されている。
- 13 キンブナ* *Carrassius C. subp*
十王川・花貫川共棲息。普通種。
- 14 ギンブナ* *C. C. langsdorfii* 普 T. et S.
十王川・花貫川共棲息。
- 15 ゲンゴロウブナ** *C. auratus cwieri* T. et S.
花貫ダムに棲息するといわれる(釣人によって放流された)。
- 16 コイ* *Cyprinus carpio* LINNAEUS
花貫ダムに棲息(花貫川河口でも筆者等視認:ダムから流下したものと
と思われる)。
- III COBITIDAE
- 17 ドジョウ* *Misgurnus angullicaudatus* (CNTOR)
十王川・花貫川共棲息。普通種。
- 18 シマドジョウ* *Cobitis biwae* TORDAN et SNYDER
十王川・花貫川共棲息。普通種。
- IV SILURIDAE
- 19 ナマズ** *Parasilurus asotus* LINNAEUS.
十王川に棲息するといわれる。
- V BAGRIDAE
- 20 ギバチ* *Pseudobagus aurantiacus* (T. et S.)
〔採集記録〕十王川。十王町高田橋付近。全長 8.2 cm。1980.12.19
- VI ANGUILLIDAE
- 21 ウナギ* *Anguilla japonica* T. et S.
十王川に棲息。花貫川**にも棲息するといわれる。
- VII CYPRINODONTIDAE
- 22 メダカ* *Oryzias latipes* (T. et S.)
〔採集記録〕十王川。十王町友部川根橋付近。全長 4.02 cm, 1980.6.24
- VIII CENTRARCHIDAE

- 23 オオクチバス* *Micropterus salmoides* (LACÉPÉDE)
花貫ダムに棲息。大川他⁷⁾に報告されている。
- 24 ブルーギル* *Lepomis macrochirus* RAFINESQUE
花貫ダムに棲息。大川他⁷⁾に報告されている。
- K GOBIDAE
- 25 ヨシノボリ* *Rhinogobius brunneus* (T. et S.)
十王川・花貫川共普通種。
- 26 チチブ* *Tridentiger obscurus* (T. et S.)
〔採集記録〕十王川*。1980. 9. 10 日立市川尻町十王橋付近。
全長 7.5 cm
- 27 ウキゴリ* *Chaenogobius urotaenia* (HILGENDORF)
十王川・花貫川共棲息。普通種。
- 28 ボウスハゼ* *Sicyopterus japonicus* (TANAKA)
〔採集記録〕十王川。十王町友部 日立電線工場付近。全長 5.6 cm
- X COTTIDAE
- 29 カジカ* *Cottus pollux* GUNTHER
十王川・花貫川共棲息。普通種。

第1報の魚類目録追加

I SALMONIDAE

- 1 サクラマス*(湖沼型) *O. masou* (B.)

大北川支流花園川に設置されている水沼ダムに棲息。
ヤマメのうち降海型となった個体が湖内に溜ったものと考えられる。

- 2 イワナ*

Salvelinus pluvius (HILGENPÖRFF)

大北川上流の沢で岩崎氏によって釣られた(位田他⁸⁾によって報告されている)。

II OSMERIDAE

- 3 ワカサギ*

Hypomesus transpacificus nipponensis MCALLISTER

水沼ダムに棲息。毎年受精卵を移殖, 放流している。

III CYPRINIDAE

4 ニゴイ* *Hemibarbus barbuis* (T. et S.)
〔採集記録〕大北川。北茨城市磯原，大北橋付近。全長 8.48 cm，
1981. 5. 26

5 アブラハヤ* *Moroco steindachneri* (SACCAGE)
大北川・久慈川共棲息。

IV COBITIDAE

6 ホトケドジョウ* *Lefua echigo* T. et R.
〔採集記録〕大北川上流上君田久川。全長 5.5 cm， 1980. 6. 20。
久慈川支流里川，日立市良々子，全長 5.68 cm， 1980. 11. 30。

ま と め

本報告も第1報と同様マハゼ *Acanthogobius flavimanus* (T. et S.) のような河口付近を主な棲息域とする魚種は除き，河川の上中流域を主な棲息域とする種を中心に調査した。

両河川の魚種は，確認したもので，十王川9科18種。花貫川(ダムも含む)7科19種であった。

更に聞き取り調査で棲息が確認される魚種は，十王川3科4種，花貫川3科3種であった。したがって両者を合計すると，十王川10科22種，花貫川8科22種となる。

また十王川は，前述のように漁業協同組合が設立され，今後放流事業の活発化が予想されることから魚種の増加が考えられる。他方花貫川は，花貫ダムにオイカワ，コイ，ゲンゴロウブナが他から移殖され，オオクチバス，ブルーギル等外国からの移入魚も繁殖している。

久慈川・大北川については，第1報¹⁾以降現認された魚種を追加した。したがって現在久慈川では10科34種，大北川では，10科28種の魚種が棲息すると思われる。

文 献

- 1) 赤野誠之・位田俊臣(1979)：本誌，No. 16，P. 169～174
- 2) 中村守純(1979)：原色淡水魚類検索図鑑，北隆館，東京
- 3) 高萩土木事務所(1961)：河川概況調査(プリント)
- 4) 高萩土木事務所：花貫ダムの概要
- 5) 茨城県水産試験場：汚濁源調査(昭和37～40年，プリント)
- 6) 位田俊臣・岡本成司・大川雅登・佐藤陽一(1981)：水産育種，No. 6，P. 34～36
- 7) 大川雅登・位田俊臣・佐藤陽一(1981)：本誌，No. 18，P. 83～96
- 8) 位田俊臣(1981)：同誌，No. 18，P. 97～106